

情報・システム研究機構長の業務執行状況の確認結果

情報・システム研究機構長の業務執行状況の確認規則第3条に基づき、平成29年度の機構長の業績について、業務執行状況の確認を実施しましたので、その結果を報告いたします。

1. 実施方法

「平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書」及び国立大学法人評価委員会による評価結果並びに機構長との意見交換及び監事からの意見等をもとに、業務執行状況の確認を行った。

2. 対象期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日

3. 確認結果

- 特筆すべき状況を生み出している
- 順調に進めている
- おおむね順調に進めている
- やや遅れている
- 重大な改善事項がある

4. 理由

機構長として、分野の異なる各研究所の状況について、情報交換しながら共有しつつ、さまざまな取組をきめ細かく行い、求心力を高めている。

また、データサイエンス共同利用基盤施設を活用し、本部と研究所が連携しながらデータサイエンスの推進を行うとともに、週1回の「役員・所長懇談会」の開催により、機構及び研究所等の運営に関する重要事項の迅速な意見交換、情報共有等を実施し、機構全体を上手く取りまとめていることは評価できる。

一方、人材育成に関しては、横断的な機構の特性を生かした研究所共同のプロジェクトの立ち上げによる流動性の向上や、若手の関心の高いテーマによる戦略的な推進に期待する。また、将来へのビジョンを明確にした上で、長期的な視点での議論が望まれる。

これらを総合的に勘案し、平成29年度の機構長の業務執行状況は、「順調に進めている」と判断した。